

CAMPUS NEWS

vol. 121



CONTENTS

【SPECIAL FEATURE 特集】

新入生インタビュー/地域を学びのフィールドにしたゼミナール紹介

【REGULAR CONTENTS】

地域×研究（長野大学 研究紹介）

新入生インタビュー

長野大学にはたくさんの夢と目標をもった学生が全国から集まっています。4月から長野大学の一員となった新入生に、入学を決めたきっかけやこれからの抱負を聞きました。

NEW STUDENTS INTERVIEW



将来は地元でソーシャルワーカーとして働くのが夢です。そのために実習やボランティア活動の機会が充実していて、精神保健福祉士と社会福祉士の資格取得を目指せる長野大学を選びました。地域活動を通して多くの人とつながりを持ちたいです。

鍋田 舞さん
社会福祉学部
(長野県松本織ヶ崎高等学校出身)

長野県



高校で情報分野の基礎的な知識と技術を学んできました。大学ではこの学びを掘り下げていこうと考えています。将来は地元富山で、地域の情報化に携わり、それを通して誰もが暮らしやすい地域社会の形成に貢献していきたいです。

清原 奏夢さん
企業情報学部
(富山県立高岡商業高等学校出身)

富山県



SDGsに関する学びを通して子どもたちの虐待や貧困について調べ、それらをなくす力になりたいと思います。福祉を総合的に学べる長野大学を選びました。社会福祉士の資格を取り、児童相談所の職員として働くのが夢です。

鈴木 翔琉さん
社会福祉学部
(静岡県私立星陵高等学校出身)

静岡県



グラフィックデザインに携われる広告関連の仕事に就きたいと考えています。デザインだけでなく、企画から商品になるまでの流れやマーケティングなど経営について学び、自分ができることの幅を広げていきます。

飯島 佑未さん
企業情報学部
(長野県小諸高等学校出身)

長野県



山岳警備隊として働くことが夢で、自然環境を保全するためのプロセスと観光をフィールドワークを通して実践的に学べることに魅力を感じました。ワンダーフォーゲル部で甲信越の様々な山に登るのが楽しみです。

森屋 篤史さん
環境ツーリズム学部
(大阪府私立大阪高等学校出身)

大阪府



長野大学は社会福祉士と精神保健福祉士の資格取得を目指す点が魅力でした。児童福祉分野に関心があるので、ボランティアにも取り組んで、将来は子どもたちが貧困に左右されない教育を受けられる環境を整える力になるのが目標です。

大平 こころさん
社会福祉学部
(茨城県立日立第二高等学校出身)

茨城県



高校生のときに、地元黒松内町産のそばを使った商品を開発した経験から、地域に根差しそのまちの魅力を伝える観光業に興味を持ちました。地域と自然の良さを生かした観光振興を積極的に学んでいきたいです。

宮川 晶さん
環境ツーリズム学部
(北海道札幌国際情報高等学校出身)

北海道



地域の人たちが企業と密着した実践的な学びができることが魅力でした。課題解決のための力を身につけ、将来は地元福井の北陸本線の運行を担う第3セクターで働き、地域発展に交通からの観点で貢献できればと思っています。

山下 柚依さん
企業情報学部
(福井県立福井商業高等学校出身)

福井県



アライグマやハクビシンなどの害獣に興味があり、その存在価値を探るために生態系の保全に関する研究に携わりたいと考えています。豊かな自然の中でフィールドワークができることに魅力を感じています。

赤星 舞さん
環境ツーリズム学部
(群馬県立前橋商業高等学校出身)

群馬県



憧れの真田氏ゆかりの地で、しっかりと学ぶことが目標です。将来像はまだ漠然で、自営の父のあとを継ぐ道、起業の道、他にも道があるかもしれませんが、自分に力をつけて決めていこうと思っています。

中尾 裕樹さん
企業情報学部
(香川県立高松西高等学校出身)

香川県



地元の商店街を元気にしたいと思い、自治体と企業、そして市民が協働して町を発展させる手法を学べる長野大学を選びました。自分の生涯をかけてやりたいと思えることを見つけてのが大学生活の目標です。

高木 希良さん
企業情報学部
(岐阜県立長良高等学校出身)

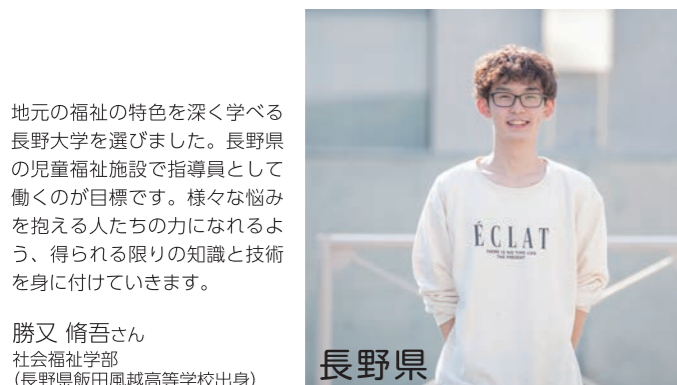
岐阜県



地域密着型の福祉が学べるところに大きな魅力を感じて長野大学を選びました。中でも高齢者福祉と障害者福祉の分野を実習やボランティア活動を通じて深く学び、社会福祉士の資格の取得を目指して頑張ります。

安田 千紗さん
社会福祉学部
(三重県立四日市西高等学校出身)

三重県



地元の福祉の特色を深く学べる長野大学を選びました。長野県の児童福祉施設で指導員として働くのが目標です。様々な悩みを抱える人たちの力になれるよう、得られる限りの知識と技術を身に付けていきます。

勝又 脩吾さん
社会福祉学部
(長野県飯田風越高等学校出身)

長野県



父の実家がある長野県で暮らしたいという思いがありました。地域社会とつながった体験型の学びを積み重ねることで、もう一つの自分の地元になった上田地域をより住みやすく魅力的な場所にしていく力になりたいです。

小泉 結依さん
環境ツーリズム学部
(東京都立雪谷高等学校出身)

東京都



中学生の時からカーリングの選手として活動していて、長野大学のカーリングサークルを4年ぶりに復活させました。カーリングを地元軽井沢の観光資源として活用する方策を見つかけたいです。

浅野 尊さん
環境ツーリズム学部
(長野県軽井沢高等学校出身)

長野県



地域を学びのフィールドにしたゼミナール紹介

地域から求められる人材を育てる地域協働型教育

長野大学の教育の柱の一つに「地域協働型教育」があります。これは、地域（自らが生きる場所）で、地域の人々や企業・組織と協働しながら、その地域の課題を発見、問題解決を進めるプロジェクトや研究のことです。学生たちはこうした活動を通じて、地域の課題に自分事として向き合うことで、地域から求められる人材へと育っていきます。

具体的にどのような「地域協働型教育」を実施しているのか、専門ゼミナールの活動を紹介します。

3つの教育の柱で、地域社会から必要とされる人材育成

1 教養教育

さまざまな価値観や文化など、幅広い知識を身につけるとともに、論理的で批判的な思考と豊かな感性を養成します。

2 専門教育

地域社会での役割を想定しながら、職業人として必要な能力・姿勢を養成し、企業や組織のなかでリーダーシップを発揮できる高い専門性と問題解決能力を持った人材を育成します。

3 地域協働型教育

自らが生きる地域を舞台に、地元住民や企業・組織と協働しながら、地域課題に向き合い、考える力や想像する力、共感する力を養成します。

環境ツーリズム学部

上田市塩田平の魅力を発信する塩田平かるたの作成に協力

古田専門ゼミナール（担当教員：古田 睦美教授）

古田ゼミでは、地域と協働し、里山の自然環境、特産物、歴史・文化など、様々な地域資源を掘り起こし、地域の魅力を活かした持続可能な地域の創造を目指して活動・研究を行っています。学生はSDGsなどグローバルな動向を踏まえつつ、地域をフィールドに、調査・分析を行って現実社会の生の課題に触れ、課題の解決を目指して、それぞれ自分の企画を提案したりテーマを設定して、地域と協働して活動・研究に取り組んでいます。

■ 学生の取り組み

古田ゼミは、「地域資源を活用した持続可能な地域づくり」をテーマに活動しています。昨年度は、2020年に日本遺産に認定された上田市・塩田平について、名所や歴史などを学んで地域への愛着を育んでもらう目的で、塩田まちづくり協議会が企画した「日本遺産信州上田・塩田平かるた」の作成に協力しました。

地元の小中学生から募集した読み句の魅力を伝える絵札を作るため、私たちは塩田平の文化財や伝承などを調べ、現地でボランティアガイドの方にお話を聞くなどして読み句に関する情報をまとめました。イラストは統一感を持たせるためプロの砂糖ふくろうさんをお願いし、調べた情報を基に絵札のデザインを提案しました。また、読み札には子どもたちにも分かりやすいように短い説明文を付け、学びながら遊べるように工夫しました。地域の情報が満載のかるたを次の世代にも受け継いでいってもらえるよう普及活動にも努めたいです。



担当教員からの一言

信濃自由大学発祥の地、信州上田には人々が自ら学び地域をつくる風土があり、地域と協働して学ぶ学生を迎え入れてくれます。学生たちにはみずみずしい感性を生かして自由に活動することを通して自己成長を遂げ、その成果が地域を元気にしていくことを期待しています。

平山 小那美さん 環境ツーリズム学部2年 (静岡県静岡市立高等学校出身)

春原 陽菜梨さん 環境ツーリズム学部2年 (長野県上田東高等学校出身)

社会福祉学部

現代の小学生の道徳教科書掲載作品で読書会を企画

片岡専門ゼミナール（担当教員：片岡 通有教授）

片岡ゼミでは、ゼミ生それぞれが実際に学校現場に足を運び、その経験を踏まえて令和という時代に求められる教育の在り方を研究テーマとして学んでいきます。児童生徒の学びや教育活動に補助的に関わりながら、自ら課題を見つけ、実践活動に基づく討論や研究発表を行う中で課題意識を深め多彩なアプローチをしています。また、共同研究「心の教育」では全員で小学校へ赴き児童・教職員・保護者とコラボした教育活動に取り組んでいます。

■ 学生の取り組み

教職関係の研究をメインとする片岡ゼミでは、昨年キャリア教育に道徳教材を活用することをテーマに活動を進めています。

上田市の小学校で実際に読まれている道徳の教科書からゼミ生が吟味した3作品をピックアップ。これをゼミ生みんなで読み意見交換をした後、まちなかキャンパス上田の市民向け講座で街かど読書会や上田市立北小学校で児童、先生、保護者も参加の「全校読書会」など3回の読書会を企画。世代が異なる参加者が感想や意見を交換しました。毎回様々な立場の人から、その立場だからこそ見えてくる考え方を聞かせていただいています。読書会は大人になった自分が、子どもの頃に読んだ作品と再会することで、自分の成長を感じる機会にもなっています。今年度はさらに活動の場を広げ、より多くの人と交流することで、新たな発見を得たいと考えています。



担当教員からの一言

学校教育が今抱えている課題、そして近未来を見据えた時にあるべき教育の姿。学生自身が学校現場で肌感覚で感じたこと、切実な問題意識を大事にしてもらいたいです。主体的な学びはまず「疑問」から始まります。そして理論と実践の往還を大事にして欲しいです。



西川 優希さん 社会福祉学部4年 (兵庫県立神戸高等学校出身)

企業情報学部

肌診断アプリと化粧品シミュレータの実用化を目指して

田中専門ゼミナール（担当教員：田中 法博教授）

田中ゼミでは、「社会で役立つソフトウェア技術の開発」をテーマとして、実際の企業や地域（自治体）などと連携しながら実用レベルのソフトウェアの開発を行っています。ゼミ生は、研究の成果から、企業や自治体と共同で特許出願をしたり、独自開発のアプリという具体的な形にしたりして社会に提供しています。自分が開発した技術を具体的なビジネスに応用する等の実用化に向けた体験ができることが、このゼミの強みです。

■ 学生の取り組み

田中ゼミでは、情報工学分野の研究をしています。私は「デジタルコスメプロジェクト」で、「実在の化粧品の視覚的質感再現のための数学モデルに基づいた化粧シミュレータの開発」を行っています。3DCG技術を使って画面上に人の肌を再現し、実際の肌ではなくCGで化粧を試すことができるようになります。研究では、ファンデーション、アイカラー、チーク、リップの4種類を可視化するために、化粧品メーカーと共同で個々の製品の化粧塗膜の視覚的質感を3DCGで再現する技術の開発に取り組んでいます。

これまでの成果としては昨年度、パーソナルカラーを診断できるアプリケーションを皆で作りました。目標にしていたパーソナルカラーによるお勧めの化粧パターンを3DCGで紹介できるところまでは達成できなかったが、基本的なベースを作ることができたのは収穫でした。今後は、自分が携わって作ったものを一般の人に公開できるところまでを目指して、研究を進めていきます。



担当教員からの一言

学生にはソフトウェア技術開発とその実用化の体験を通して、本当の意味での「手に職」をつけてもらうことを期待しています。自分が開発している技術を社会に向けて、どのように実用すれば役立つか、そして、どうすれば他にはない価値を提供できるのか、という視点で考えられる力を身につけてもらいたいと考えています。



西村 綾莉さん 企業情報学部4年 (群馬県立桐生高等学校出身)

地域×研究

長野大学では、長期的展望に立ち地域から世界につながる多様な独創的研究を推進することを大学ビジョンのひとつとして掲げています。こうしたビジョンの実現に向け、長野大学の教員は、地域を主題とする研究の深化と教育・地域活動への活用を日々実践しています。



環境ツーリズム学部 松下 重雄 教授 【主な担当科目】まちづくりマネジメント論

人と人の出会いから生まれる地域協働のまちづくり

もともとは、英国のパートナーシップ型のまちづくり「グラウンドワーク」を研究対象としています。グラウンドワークは、住民が行政や企業とパートナーシップをとりながら、身近な環境づくりを進める実践的な環境改善活動のことで1980年代の英国で始まりました。今も続く活動は英国最大規模の NPOの名称でもあり、仕組みを表す言葉にもなっています。日本でも市民団体がこの活動に注目して90年代には導入がはかれるようになりました。日本と英国で社会の様子は違いますが、似通ったところもあります。世界のまちづくりの最前線でどんなことが起こって、どう対応しないといけないのかを見続けながら、日本社会に適應するやり方を考えることがライフワークになっています。

現在は地域協働のまちづくりをテーマにした事例研究や、実際にまちづくりの現場に関わりながら調査研究を進めています。近年では、英国の「ソーシャル・エンタープライズ・タウン」という新しい概念のまちづくりモデルに注目しています。これは、地域の社会的課題を企業的な視点で解決することで、その利益を地域に還元していくというものです。まちの中にそういった社会的ビジネスや場所が増えると自然と人が集まり、新しいにぎわいが生まれ、生活そのものが生き生きとしてくるのです。

地域の課題を地域とともに解決するプロセスを経験

長野大学がある上田市のまちなかにも、人と人をつなぐ社会的ビジネスや場が増えつつあると感じています。ゼミ活動のフィールドワークでは、地域の人との関わり合いから地域課題を発見し、解決のための取り組みやイベントなどの活動を展開していきます。それは、新たに発掘した地域資源の発信や地域コミュニティ活動の支援、地域イベントの企画運営など多岐にわたります。まちづくりの中心を担うのは行政ではなく市民である私たち自身です。学生は主体性と社会性を持ちながら、まちづくりの現場で実践を重ね、学びを深めていきます。

松下 重雄教授からのメッセージ

専門分野の知識や経験だけではなく、幅広い教養を身に付けてください。目先のことだけではなく、これから自分が生きていく規範や価値観の基盤が大学時代にできるといえると思います。あえて難しい本を読んだり、放浪の旅に出たり、創造的な活動をしたり、いろいろなことに挑戦してほしい。長野大学の先鋭的で新しい魅力的な校風をここで学ぶ学生自身が創ってほしいと願っています。



企業情報学部 高橋 雅夫 教授 【主な担当科目】データサイエンス概論・データサイエンス論・データベース論

データサイエンスの手法に基づいた分析で課題解決を考察

研究内容を一言で伝えるとすれば「データを活用した実証研究」です。社会や企業に関するいろいろな情報・データを使い、データサイエンスなどの手法に基づいて現状を分析し、そこから課題を明らかにしてその解決に向けた考察を進めることです。

例えば、公的統計の調査票情報を匿名化した統計マイクロデータを用いて、地域の事業所や企業の「開業」と「廃業」状況について確率的なモデルを開発して推定したり、企業等で働く夫婦の労働時間と家事時間のギャップ分析をジェンダーの視点から行ったりする研究を進めています。

社会の様々な課題に対処しようとするとき、いろいろな方策が考えられます。そのようなときに、具体的な証拠やデータに基づいた意見や主張を述べることであれば、関係者をよりよく納得させることができたり、より強い信頼を得てその方策を実施できたりするのではないのでしょうか。データに基づいて現状と課題を把握して、解決策を考えていくことができれば、これからの社会の発展によりよく貢献できるものと思います。

課題解決に向けてのデータ分析で地域と連携

2年生以上が参加するゼミのプロジェクト研究においては、「課題の発見・解決のための調査・分析」をテーマとして、統計調査や

アンケート調査の手法を用いて、ゼミのメンバーとともに上田市や長野県、隣接県内の地域の様々な業種の企業の現状や課題を把握し、その解決に向けた考察を行う取り組みを進めています。その一環として、上田市内別所温泉の旅館などと連携して、温泉街や旅館が抱える課題解決に向けたデータ分析などを行う活動を始めています。具体的には、ある温泉施設の利用者について、例えば常連なのか旅行客なのか、どの曜日の利用が多いのか、年齢層はどのような分布なのかなどを把握します。現状が分かれば、そこからはどういった客を増やしていったらいいかが見えてくるかもしれません。すると利用してくれる特定の客層に絞った広告活動や販売促進活動ができる可能性が出てきます。

高橋 雅夫教授からのメッセージ

「データサイエンス」と聞くと、高度な数学やアルゴリズムを用いてデータと格闘するようなイメージがあるかもしれませんが、確かにそういう側面もありますが、実はもっと身近なものだと思います。手軽に入手できる気象や統計などのオープンデータを使って、表を作ったりグラフを描いてみたりするだけでも、これまで気づかなかった新たな発見ができるかもしれません。是非気軽に取り組んでみてください。

上田の名所と長大生

生島足島神社(いくしまたるしまじんじや)

延喜式にその名が記される由緒ある古社で、生島大田と足島大臣の2神を祀っています。戦国時代には武田氏や真田氏が厚い尊崇を寄せました。神社には、真田信之の寄進状と朱印状が残り、寄進状には慶長6年に同神社に40貫文を寄進したこと、朱印状には慶長13年に社殿の造営料15貫文を預け置くことが記されています。



〈表紙の長大生〉

松下 実央さん 企業情報学部3年
(長野県上田東高等学校出身)

ゼミで「信州上田発のデザインを作成し、ネットショップを作って発信しよう!」に取り組んでいます。上田らしさを表す店名、コンセプト、ストアロゴや商品デザインを考え、販売を目指してポストカードの作成を計画しました。誰かの心を温かくするものを作りたいです。

岡田 輝さん 社会福祉学部3年
(埼玉県私立開成中学・高等学校出身)

社会福祉を学びながら教員を目指せるところに意義を感じて長野大学を選びました。ゼミでは戦争を体験した地域の方から聴き取りを行って、若い世代への継承を目指しています。将来教員になった時に、この経験を子どもたちに伝えていきたいです。

長野大学キャンパスニュース

CAMPUS NEWS

vol.121

発行：2022年6月
長野大学アドミッションセンター運営委員会

〒386-1298 長野県上田市下之郷658-1
TEL：0268-39-0020
mail：kouhou@nagano.ac.jp
ホームページ：www.nagano.ac.jp



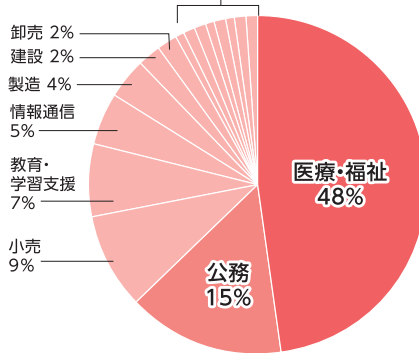
就職決定率 98.6%

■2021年度全体(2022年4月現在)

社会福祉学部

【就職決定率99.3%】

金融・運輸・郵便・宿泊・飲食サービス、その他サービス、生活関連サービス・娯楽・不動産・物品賃貸、電気・ガス・水道、学術研究、専門・技術サービス 各1%

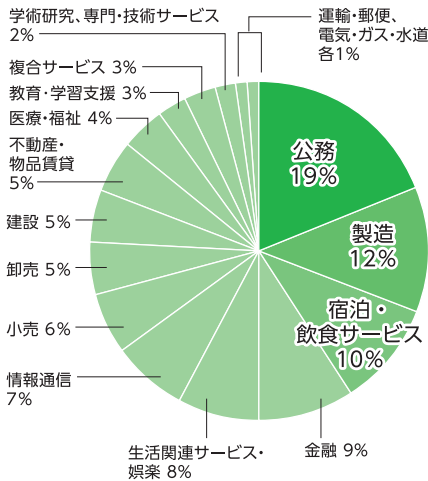


おもな就職先・進学先

- 社会福祉協議会 (長野県、富山県、安曇野市、小諸市、下諏訪町、上田市、白山市)
- 長野県、荒川区、神奈川県、京都府、静岡県、上田市、佐久市、塩尻市、名古屋、横浜市 他
- 教員(茨城県、熊本市、エクセラ高等)
- 栗田病院
- 長野松代総合病院
- 東京リハビリテーションセンター世田谷
- 上田明照会
- 長野県障がい者スポーツ協会
- 日本年金機構
- 信州ハム
- 長野銀行
- JR東日本
- コジマ
- 富山大学大学院
- 東京学芸大学大学院 他

環境ツーリズム学部

【就職決定率99.0%】

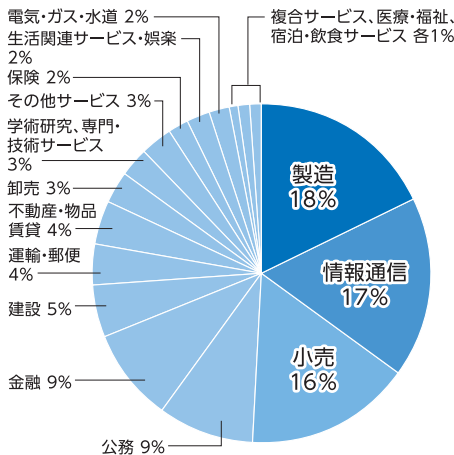


おもな就職先・進学先

- 斎藤ホテル
- 星野リゾート
- 東急リゾート&ステイ
- ルートインジャパン
- JA松本ハイランド
- 千代田区、上田市、安曇野市、嬬恋村 他
- 長野県警察、静岡県警察
- 海上自衛隊
- R&Cながの青果
- 城南製作所
- 長野県信用組合
- 長野県労働金庫
- BuySell Technologies
- ドン・キホーテ
- 愛媛大学大学院 他

企業情報学部

【就職決定率97.1%】



おもな就職先・進学先

- 長野県、群馬県、上田市 他
- キッセイコムテック
- 全農長野計算センター
- システムサポート
- 東京特殊電線
- 土木管理総合試験所
- 八十二銀行
- 群馬銀行
- 上田日本無線
- シナンケンシ
- イオンリテール
- イムラ封筒
- 福山通運 他

※おもな就職先・進学先は2021年度卒業生より抜粋
※このほかの就職情報についても長野大学のホームページからご確認いただくことができます。